2023.08.01(火)　第 24 回高校生国際美術展
県知事賞を受賞　美術の部　佐藤さん(杜陵3年)

第24回高校生国際美術展

書の部 馬場さん(盛岡一3年)

県知事賞を受賞

美術の部 佐藤さん(杜陵3年)

福岡3年 久保田さん 書の部で最高賞

第24回高校生国際美術展（ＮＰＯ法人世界芸術文化振興協会主催）の審査結果が発表された。本県から、書の部のチャールズ皇太子賞（The Prince of Wales foundation Award）に福岡３年の久保田蓮さんの「おくのほそ道」が選ばれ、上位３賞に次ぐ岩手県知事賞を盛岡一３年の馬場悠歌さんの「傅山（ふざん）」（書の部）、杜陵定時制３年次の佐藤離歌さんの「私のたのしい夢」（美術の部）がそれぞれ受賞した。３人の作品は、海外から寄せられた作品とともに、８月９日から20日まで東京都港区の国立新美術館に展示される。表彰式は８月２日にザ・リッツ・カールトン東京で行われる。

馬場さんの「傅山」（書の部・岩手県知事賞）＝ＮＰＯ法人世界芸術文化振興協会提供

馬場悠歌さん

同美術展は、高校生の豊かな才能を見いだし、芸術を愛する豊かな心を育み、次世代の芸術を担う人材や国際貢献できる人材の育成を目的に開催。今年は全国の高校生から１万1376点（書の部１万64点、美術の部1312点）の応募があり、1818点が入選、うち書、美術の各部門で15～16点が各賞を受賞した。

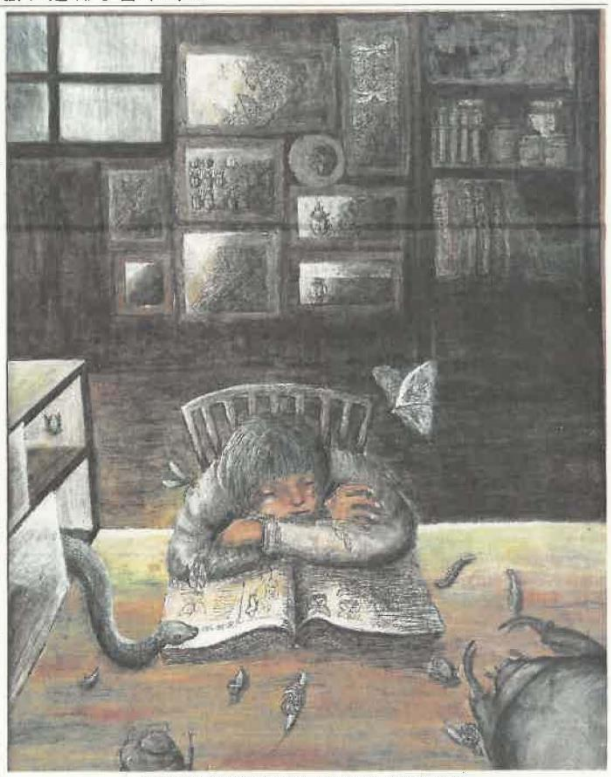
佐藤離歌さん

書の部の馬場さんの作品は、中国・明清時代の書家、傅山の「草書五言律詩軸」の臨書で、手本を基に半切（136×35㌢）に書き上げた。行書・草書の連綿（字がつながっている部分）の運筆の力強さなど、古典に習いながら全体のまとまりを意識して仕上げた。

馬場さんは小学一年生から書道教室に通い、高校入学後に本格的に傅山や王鐸（おうたく）の臨書に挑戦したが、なかなか思う通りに書くことができなかった。傅山の力強い行草への憧れが強かったが、篆書（てんしょ）、楷書などにも取り組んだことで「やっと納得のいく書を書くことができた」と受賞の喜びをかみしめる。

佐藤さんの「私のたのしい夢」は、50号のキャンバスにアクリル絵の具とメディウム、ペンなどを使って描いた。幼い頃から虫が好きだったという佐藤さん。今夏は全国高校総合文化祭（2023かごしま総文）美術工芸部門へ本県代表の一人として参加するなど活躍の場が多かった本から、生き物が飛び出してきて一緒に遊ぶイメージを表現し、「古びた小屋の感じを出すことができた」と言う。

杜陵高美術部の部長を務め、授業の時間割の関係で、「誰よりも美術室にいる時間が長かったかも」という佐藤さん。今夏は全国高校



佐藤さんの「私のたのしい夢」（美術の部・岩手県知事賞）

努力し続けたい」と気持ちを引き締める。

各部門の盛岡地域の奨励賞以上の入賞者は次の通り。（敬称略、かっこ内は学校、学年）

【書の部】▽奨励賞＝新谷三汰（盛岡中央3）、居舘優杏（盛岡市立3）、越前はな乃（盛岡市立3）、堰合優羽妃（盛岡市立3）、藤原蘭（盛岡四3）、原琴梨（同3）、下川紗知々花（盛岡四3）、佐藤大津里佳子（盛岡四3）、小野寺寿（盛岡一3）、佐々木伊織（同2）、杉本綺良（不来方2）

【美術の部】▽奨励賞＝柏原美斗（盛岡四3）

※　盛岡タイムス 2023年８月１日(土)付　この記事は盛岡タイムス社の許諾を得て転載しています。